

洋上アルプス

NO. 127

平成17年10月5日

林野庁屋久島森林環境保全センター発行

鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦1577-1

TEL0997-42-0331 FAX0997-42-0333

屋久島生態系モニタリング

屋久島南部植生垂直分布調査 (平成15年度調査)

・湯泊林道沿い(標高200m地点)

プロットは、湯泊林道沿いの広葉樹二次林内に設定した。付近は、小尾根と窪地を含む山腹である。プロット南側は、林道上側法面であり、その林道の南側には、水道施設がある。

プロットの階層別植生は、高木層のよく発達した林分である。タブノキが多く、ヤマモモ・クスノキ・ハゼノキ・ヒメズリハ・スタジイなどが混生する。

亞高木層では、植被率が低く、高木層との階層が比較的はっきりとしている。ヒメズリハが多く、ヤマモモ・モクタチバナ・タブノキ・クスノキ・マテバシイ・イヌビワなどが混生している。

低木層では、植被率は低い。出現する樹種はモクタチバナ・タミンタチバナ・シマイズセンリョウ・オオムラサキシキブ・ヤマモモなどである。

草本層では、北側の谷部では、シダ植物が多く植被率も高い。南側の尾根部ではツワブキ・ボチョウジ・マンリョウなどが出現するが、高木層の稚樹は少なく、植被率も低い。

すやま面を利をし行は
まるで鞍実お用実ての、本
太の部施願さ施い第平植
柵区か箇いれしま一成生
工間ら所しるましーー回
なで永はま皆すた八七復
ど、田永すさのが号年事
を木岳田。んで、で一業
実製山岳
施階頂南
し段附東
ま工近斜
意を事せ發て

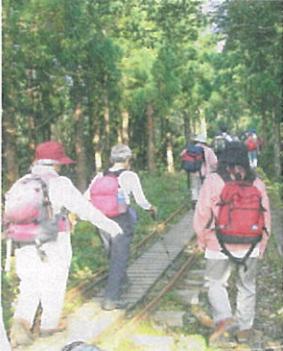
(一七年度工事に着手。通行に注意を!)

永田岳登山道周辺の植生回復事業



永田岳南東側斜面

協掛皆とすしに道登
力けさな。たよに山
をしんつ工植り登道
おまにて期生、山を
願すはいはを登者整
いが大ま一回山を備
し、変す二復道誘し
まごご。月す周導、
す理迷登末る辺す既
。解惑山日事のる存
とを者ま業後こ登
ごおのでで退と山



軌道敷きを歩く登山客

り期がすず侵いし第文島タへけ
ま待大る、入てた二杉県一屋で九
ししきと一等も。回の支へ久、月
たてく一回の、今日樹部は島屋
。い進部目異傷回の皮の日森
点たんのの常口の点剥樹木樹本
検回で力点に点離木被医木木
後復いル検認材結実害と医保
は状るス時認材結害と医保
傷況なのとめ腐果施箇共会全
口にど発比ら朽にし所に鹿セ
のあ、達較れ菌おまの縄児ン署か



樹木医による修復作業②



第二回点検後の傷口(9/27)

べてな期たパにタ
一二登間。ト呼一屋
二山中パロびは、森
三ルにトロールかけ
名のトロールを実
回実施チ六てルは、
三箇管は、施夏及
所内、夏所内、夏及
してにの夏所内、夏
ム所内、夏所内、夏
しでにの夏所内、夏
た、つ主休ま森林セ
全た、つ主休ま森林セ
た、つ主休ま森林セ
延い要みし林官ン

夏季森林パトロールを実施

予はめて調に被しゆ洗
定する、らい査つはいがし促を行
でた傷れまもじがし促を行
すめ口で、す実施、文
。來春修復状況を確
に定杉まのと共に再塗に
に特に変化。今はエッセ着る皮を殺
検を行なう。今はク葉影剥実剤
認し量響離施、

屋久島の植物



ヤクシマヒヨドリ
(きく科)

花切はくぐるの〇
がれ鋸ら、〇湿〇屋
咲込歯い葉茎つm久
くむがではのたく島
〇。あ先幅高場らの
花秋つは三さ所い固
期にてとcm三にの有
九淡深が、〇生、種
、紅くり長、〇息川。
一紫何、さ四し岸標
〇色回縁五〇てな高
月のもにcmcmいど五

